

地域の一体感で『協力は強力なり』 ～第3回小泉潟クリーンアップ～

水土里レポーター 安養寺文隆
(新城川土地改良区事務局長)

秋田市の北部に位置する金足地区に、小泉潟公園があります。そこで行われたクリーンアップの模様をご紹介させて頂きます。

小泉潟公園は、テニスコート場などの運動施設、バーベキューなどをを行う多目的広場、秋田県で初めての本格的林泉廻遊式日本庭園の水心苑、毎年6月中旬が見頃になる菖蒲苑、秋田の歴史がわかる県立博物館などがあり、地域内外を問わず、人々の憩いの場となっております。

その中でも小泉潟公園の顔である、男潟、女潟は地域住民の生活にとって大切な役割を担っている重要な施設であります。

昭和30年代には男潟で「じゅんさい」が収穫でき、水も飲めるほどキレイだったそうですが、農村の都市化、混住化に伴い水質の悪化やゴミの不法投棄が目立つようになってしまいました。そんな中、「地域の宝を復活！」させるため、金足地区振興会を中心に、新城川土地改良区、公園管理事務所、隣接した町内会とタッグを組み『小泉潟をキレイにする会』を発足することができ、クリーンアップ活動を行う事になりました。

第1回目のクリーンアップでは、不法投棄された粗大ゴミなど軽トラック約20台分のゴミが回収されました。第2回目は潟の水位を低くし、湖底に降りて作業を行う事ができ、隅々までキレイにすることが出来ました。2回目からは地元の学校の金足農業高校、秋田北中学校、金足西小学校の皆さんにも協力していただき、約300名の参加人数を集めることができました。

そして今年は6月29日(日)午前6時から小雨の中、実施いたしました。昨年に引き続き町内会や各種団体、地元の学校の生徒達にも協力して頂き、昨年を上回る320名の参加を頂くことが出来ました。回収されたゴミは回を重ねるごとに少なくなってきており、活動による成果かなと感じております。今後も関係団体や地域の協力を頂きながら、毎年6月最終日曜日を開催日とし、クリーンアップを継続していき、重ねて潟の水質改善にも努めていきたいと思います。

「地域の一体感で地域を守る」!! 地域住民で心をつなぐクリーンアップ活動により個の力は弱いけど、個々が協力しあえば強い力になる事を実感することができました。

最期に誇れる地域を目指し土地改良区も邁進してまいります。





秋田県能代地区土地改良区

工務課長 能登 正実

本地域は、秋田県北部の米代川河口部を両岸に位置する起伏の少ない丘陵台地で、能代市、三種町、八峰町に跨がり、その面積は3,094haに及んでいます。昭和43年から平成元年度に渡り国営総合農地開発事業を実施、その後、平成9年から平成19年にかけ県営ほ場整備事業を実施し、現在の受益面積は2,443haとなっています。

用水源は、世界自然遺産登録された白神山地の湧水を貯留する県営素波里ダムに全量を求める素波里頭首工から大野分水工まで12kmの隧道で導水し、大野分水工から末端農地給水栓まで、すべてパイプライン方式で用水を供給しています。その様なことから24時間体制で供給量を監視し突発事故等に対応しています。

国営で造成された施設の中には40年以上経過する施設もあり、整備補修事業を活用し長寿命化対策に取り組んでいますが、抜本的な対策として国営事業及び県営事業による更新整備を目指すため能代地区施設管理検討会を設置し課題等を協議をしています。

一方、土地改良区の体制強化については、本年6月においてそれぞれ水系の異なる3土地改良区と平成28年4月の合併認可に向け統合整備推進協議会が設置されました。合併後の受益面積は3,142haの計画となります。僅か2年間において様々な問題を解決していくかなければなりませんが、諒解と作業を進めていきたいと思っています。

最後に職員体制としては、正職員9名、嘱託職員1名、臨時職員2名の12名で管理運営をしています。その内10名が20代前半から30代前半の若手職員であり活気にあふれた事務所となっています。今後、若手職員には合併を機会に地域貢献もできる土地改良区を目指し、地域から望まれる土地改良区職員に成長できるよう期待しています。

「あきた体験農園」～平成26年度活動報告①～

現在35会員！ 秋田市仁井田の「あきた体験農園」
みなさんぜひご参加下さい。

- ① 4月24日 肥料散布、溝切り、耕運
- ② 5月 7 日 ジャガイモ植え付け
- ③ 5月23日 サツマイモ苗植え：大住小学校3年生(103人)
エダマメの種まき
- ④ 7月 3 日 草取り
- ⑤ 7月 8 日 サツマイモの草取り：大住小学校3年生(103人)
秋にはサツマイモの収穫を予定。



体験日記

5月23日大住小学校3年生(103人)を対象に、サツマイモ苗植え体験を実施。前日の天候が雨であったため、圃場は最悪の状態であった。圃場に入った小学生は移動するたびに、ぬかるみに足を取られ、長靴が泥に埋まり足だけがぬけてくる状況で悪戦苦闘。

「随想」——シリーズ⑥

いつも前向きな気持ちで

湯沢市中央土地改良区 越後谷孝子



土地改良区の仕事に携わり、早や37年が過ぎ私も今年は56歳の誕生日を迎える。就職した昭和53年頃は、

圃場整備最盛期で春に新しく出来た3反歩田を測量するため、私の仕事はポールとテープを持って畦畔を走ることから始まった。農家の財産である田を測量し、合作の境界線を出し配分する大変な作業だった。その後土地の評価から換地処分に至るまでいろいろな仕事に従事し、土地改良区は活気に満ちている時代だつたと懐かしく思う。

ここ数年、社会情勢の変化に伴い農業政策も変わり、時代についていくことに精一杯で仕事をしている。そんな中、平成22年度から総務の他に、当時の農地・水担当という兼務の辞令を頂いた。特に2期対策は自分が主となり、取り組む日々で仕事に追われ大変な2年間だった。平成26年度は新たな事業が創設され、政策等も変わったが事務局長始め担当職員の協力の下、順調なスタートができ本当に感謝している。

私には一人の子供がいる。子供たちが育つとき、恵まれた家庭環境とは言えず情操教育にも無縁な親だった。共働きのため仕事から帰るとすぐ家事の毎日で、子供に目を向けながら声掛けすることを第一に育

ててきた。休みの日は子供達の趣味を優先し、それに親が付き合った。息子は高校を卒業し地元就職して10年目、娘は2年前大学を卒業し、春から由利本荘で働いている。やつと一息できる時が来たと思う。私はいつも将来を空想し、それを夢として夫に話すとまだ先のことと笑う。希望を持つことで前向きになれ、明日も頑張ろうと思える。今後は子供たちへの後方支援と土地改良区職員として活動組織の方々と共に、地域のため微力であるが頑張ろうと思う。



連合会日誌

7月30日	金足農業高校インターンシップ（～8月1日）	本会
7月31日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会要請活動（～8月1日）	東京都「農林水産省」他
8月7日	平成26年度土地改良区基盤強化事業会計コース研修会（～8日）	秋田市「ふきみ会館」
8月27日	本会第2回理事会	本会「第一会議室」
9月24日	東北・北海道土地改良事業団体連合会第2回事務責任者会議（～26日）	北海道
10月30日	第137回秋田県種苗交換会（～11月5日）	男鹿市
10月30日	第37回全国土地改良大会（山梨大会）	山梨県甲府市

会員だより

新理事長就任のお知らせ

次の方々が新たに理事長に就任されました。
○峰浜村大沢土地改良区(H26.6.10)

理事長 白鳥 金悦

○平鹿町土地改良区(H26.7.7)

理事長 佐藤 紘蔵

事務所変更のお知らせ

○小坂町土地改良区(H26.7.22から)
〒017-0201
鹿角郡小坂町小坂字上谷地41番地1

作品
募集中

「ふるさとの田んぼと水」 子ども絵画展 2014

テーマ 「新発見！ぼくのわたしのふるさと」

応募締切 9月5日(金)必着

応募資格 小学生以下

賞(昨年度実績) 農林水産大臣賞／文部科学大臣賞／環境大臣賞
全国水土里ネット／会長賞／協賛企業賞
水の路賞／ふるさと水と土優秀賞 など

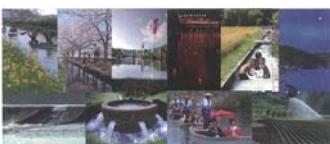
応募のきまり

- 応募資格は小学生以下。クラスや学校単位での共同作品も可。
- 四つ切り画用紙サイズ(38cm×54cm)以上、90cm×190cmまでとします。
- 作品テーマにまつわる題材で自由に描いてください。画材は自由です。
- 応募用紙に必要事項を記入のうえ、はがれないように作品のウラに貼り付けてください。

応募先 〒010-0967 秋田市高陽幸町3-37 水土里ネット秋田(秋田県土地改良事業団体連合会)
問い合わせ先 総務企画部 総務企画班 あて TEL.018-888-2750 FAX.018-888-2834



「疏水のある風景」
写真コンテスト2014
作品募集



日本橋や橋梁などの橋は、水を行き交うための農業用水路が作られています。
また、水路を用いた灌漑や排水、肥料を運ぶなどして、農業生産・防災・排水の排水路・
小川の電力など多くの機能で活用されており、その役割は約4万キロメートル。物理100分
というあたりになります。

日本を誇る日本のよく流れる運河は、各地を走ります一方で、人々の生活に組み込み、日本人の運
営運営をうべき見る見る運営がなされています。

誰が開拓するか争う日々の運営や方法の様子など、身近で大切なお水の姿を撮って応募
下さい。

● 撮影料 ● 疏水の歴史 ● 疏水の運営や方法の様子など ● お水の命 ● お水の命 ● お水の命
● 応募方法 ● 年度別賞 ● 展示会 ● 募集期間 ● 募集条件 ● 募集規約 ● 募集規約
● 応募締切 ● 平成27年1月12日(月) 消印有効 ● 募集規約 ● 募集規約 ● 募集規約
● 公開規約 ● 公開規約 ● 公開規約 ● 公開規約 ● 公開規約 ● 公開規約
http://www.inakajin.or.jp

作品
募集中

「疏水のある風景」 写真コンテスト2014



題材 農業用水路などを含めた農村の景観や施設とともに生きる人々、
生活の様子、疏水を活用した地域づくりなど。

応募方法 平成25年1月以降に撮影した未発表のもの、四つ切り又は四つ
切りワイドのプリント。応募票等詳細は下記URLまで。

応募締切 平成27年1月12日(月) 消印有効

応募先
問い合わせ先

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館4F
全国水土里ネット「疏水のある風景」写真コンテスト係 TEL.03-3234-5480
<http://www.inakajin.or.jp>

夏季休暇のお知らせ

水土里ネット秋田は、8月13日～15日ま
で夏季休暇のため、各事務所（本部・北事務
所・南事務所）は閉館となりますのでお知ら
せします。

編集後記

いつの間に梅雨が終わったのか、すっかり夏
模様ですね。竿燈の練習の音が耳に嬉しい夜が
続きます。さて先日、本会のピックイベントで
ある「わくわく探訪」が開催されました。今回
は若手スタッフの方々にも協力してもらい、フ
レッシュ感あふれる「新水土里ネット」を皆さんにお見せ
する事が出来たのではないか…?休日にも関わ
らず、快く講師をお引き受け頂きました県秋田地域振興局
舛谷課長にもこの場を借りてお礼申しあげます。わかりや
すい説明や資料制作、本当にありがとうございました!沢
山の人々に支えられ、広報活動が出来ているということを忘
れず、日々精進していきたいと思います。
(総務企画班△寺山)

